

読書感想文の書き方

名前

1. 読書感想文って何？

「読んだ本」の「感想」を書いた「文」のこと。

2. 何のために書くの？

相手に伝える文章を書く練習のため。

→ 読書感想文を読んだ人が「なるほど、〇〇くんはこの本を読んで、こう思ったんだな」と、思ったことや分かったことが伝わる文章を書こう。

3. だれに向かって書くの？

学校の先生や友達に読んでもらおうと思っ書こう。

→ 先生や友達が読んだ時に、意味が伝わるように書こう。

4. 本のえらび方

(1) おすすめの本

① 物語の本 (フィクション)

② 伝記・歴史・ドキュメンタリーの本 (ノンフィクション) ← 図鑑が好きな人におすすめ

(2) 最後まで読める本にする

→ いったん読みはじめても、途中で読めなくなったら、別の本に変えてもいいよ。

(3) 自分が「読みたい」と思った本にする

(4) 読んだ後で、自分が「おもしろかった」「読んでよかった」と思えた本にする

→ 「感動した本」じゃなくてもいい。感動するぐらいおもしろい本には、大人でもなかなか出会えないんだよ。

(5) 見つからなかったら司書さんに教えてもらう

→ 本えらびでこまったら、学校の図書館や豊田市中央図書館で司書さんに相談しよう。司書さんは本を見つけたりえらんだりするプロ。きっといい本をしょうかいしてもらえるよ。

5. 用意するもの

400字づめの原稿用紙10まい (下書き用と清書用)

書きやすい鉛筆

よく消せる消しゴム

赤ペン

6. 原稿用紙を工夫する

(1) 下書き用の原稿用紙3まいを用意する

(2) 赤ペンで3行ずつ四角くかこむ

(3) 3行ずつのブロック (かたまり) が20こできる

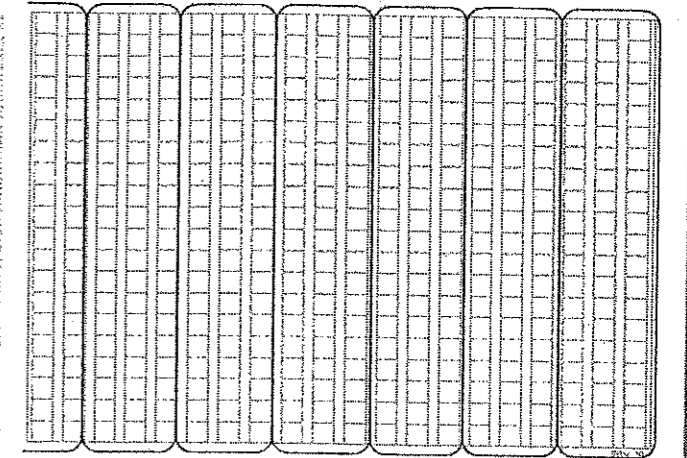
(4) ブロック1つずつ、書くことを決めて書いていく

→ 3行ずつならけっこう楽ちん!

これを14~20こやっつければ完成だ!

※ ちゅうい

書きたいことの文字数に合わせて、ブロックからはみ出して4行になったり、ブロックをあまらせて2行になったりしてもいい。「ブロックをぜったいにまもって書こう」ってわけじゃないよ。



7. さあ、書いてみよう!

えらんだ本と、うらのお手本をよく読んで書こう。がんばれば1日で書き終わっちゃうぞ!

8. 見直しをしよう

(1) 自分で見直す

① まちがっている文字や、ぬけている文字はないか

② 「です・ます」と「だ・である」がごちゃまぜになっていないか

③ 文の最後に「。」はついているか

④ 「、」が1行に1つか2つあるか

(2) 大人にも読んでもらおう

9. 清書

ゆっくりと字を書くと、読みやすいきれいな字になるよ。さいごのしあげだから、がんばって!

参考文献

「お父さんが教える読書感想文の書き方」赤木かん子著 自由国民社

「実例作文がいっぱい! 小学校3・4年の読書感想文」立原えりか監修 成美堂出版

